

医学部カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

「至誠一貫」の精神のもと、真心を持って医学・医療の発展と国民の健康増進と福祉に寄与する人材の育成」という教育目標およびディプロマポリシー（卒業時の達成目標）を実現するためのカリキュラム（教育課程）策定方針を以下に列挙する。

1. シラバス（授業計画）には、すべての授業科目に GIO（一般目標）と SBOs（行動目標）を記載する。SBOs を積み上げることによって、GIO が達成される。更に、各授業科目の GIO により、ディプロマポリシー（卒業時の達成目標）が達成される。
2. すべてのシラバスの授業科目に、評価方法、評価基準、オフィスアワー等を明記し、学習効果を高める。
3. 富士吉田教育部では、心身を鍛え、学部を横断した学習や交流を通して広い教養を身につけ、将来のチーム医療を担うために視野を広げ、豊かな人間性を育成する。
4. 2年次からの専門科目では、医学部モデル・コア・カリキュラムをもとに、本学独自に授業科目を組み立てた基礎と臨床の統合型カリキュラムを採用する。
5. 1年次から4年次では、少人数による PBL チュートリアルを取り入れ、主体性を養うとともに、自ら問題を発見し解決する能力を育成する。また、1年次と3年次では他学部との合同の PBL チュートリアルを実施し、チーム医療の基盤を育成する。
6. 4年次では、実習で診察技法、画像診断を学び、基本的な治療技術を修得する。
7. 5年次からすべての診療科で臨床実習を行い、実践の場で必要な知識・技能及び専門職としての態度を修得する。
8. 6年次では、3診療科で各4週間のクリニカルクラークシップを実施する。幅広い視野を持たせるために、実習施設は国内外を問わない。本実習では患者本位のチーム医療を実践する高い臨床能力を育成し、かつ真の医療人としての行動規範を修得する。
9. 卒業試験は知識、技能、態度を問う医師国家試験に準じた形式の試験を実施し、修得の達成度を確認する。
10. これらを通じた6年間の勉学を集成し、至誠一貫の精神を具現する医学・医療の発展と国民の健康増進と福祉に寄与する人材を育成する。

医学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針、卒業時の達成目標）

「至誠一貫」の精神のもと、「真心を持って医学・医療の発展と国民の健康増進と福祉に寄与する人材の育成」という教育目標を実現するためのカリキュラム（教育課程）を策定している。

卒業までの達成目標を以下に列挙する。

1. 知識
自然科学を基盤として、基礎医学、社会医学、臨床医学の幅広い知識を修得する。
2. 技能
生命科学の基本的な研究手技並びに臨床医学の基本的な診察と診断の技法および治療法を修得する。
3. 問題解決能力
生涯にわたって自らの課題を探求し、主体的に問題を解決する能力を育む。
4. 態度
常に専門職としての良識、倫理観及び強い責任感を持って行動する態度を身につける。
5. コミュニケーション能力
豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、患者本位のチーム医療を実践できる能力を培う。